

主な質問と答弁の要旨

後藤香代里議員

家具転倒防止対策補助金の創設について

Q1 21世紀に必ず発生すると  
言われている大規模地震に  
備えて、家具の転倒防止対  
策を町民に広く呼びかけ、その  
費用を補助するような制度を創  
設してはどうか伺う。

答 (山田防災安全室長)  
地震の際、家具が転倒す  
ると大怪我や逃げ遅れの原因に  
もなります。

各家庭が自分の命は自分で守  
る自助として、L字型の金具や  
専用ベルトなどで対応して頂く  
よう、広報誌等で啓発・周知を  
してきましたが、今後も継続的  
に呼びかけをして行きたいと思  
います。

また、家具転倒防止対策の補  
助金創設については、県内では  
岐阜市、多治見市、恵那市など  
が、本人の取り付けが困難な世  
帯を対象に、助成を行っていま  
すが、実施の形態  
は様々ですので、  
今後研究の上検討  
してまいりたいと  
思います。



富山型デイサービス  
の導入について

Q1 東部地区の、たとえば潮  
南地区の方々は、福祉サー  
ビスを利用するために、久  
田見や八百津まで長距離を移動  
する必要があります。その負担  
を軽減するために、デイサービ  
ス、保育園、学童保育などのサ  
ービスを障がいのある無に関わら  
ず、住み慣れた地域で受けられ  
る富山型デイサービスのよう  
な複合的なものを、八百津町へも  
導入できないか伺う。

答 (藤本健康福祉課長)  
町全体のデイサービスの  
供給量としましては、現在充足  
していることから、潮南地区に  
町営のデイサービスを設置する  
予定はございません。

放課後学童保育等の預かり事  
業につきましては、事業にかか  
る費用や人材確保の面から、す  
ぐの開設は厳しい状況がござい  
ます。そのため、地域の人材を  
活用して地域で子育てを支えあ  
う仕組みづくりを、提案させて  
いただいたところです。  
現在、住民の皆さんが主体と  
なった、助け合い活動を推進す  
る勉強会や、運営母体の立ち上  
げについて計画しているところ

赤塚孝博議員

小中学校における防災  
教育等の現状について

Q1 近年、数多くの自然災害  
やスマートフォン等の関係  
する複雑化した犯罪が発生  
している。それぞれに対応した  
防災意識を持つ必要性があるが、  
小中学校における防災教育はど  
のように実施しているのか。ま  
た、防災教育を行う上で、応急  
手当普及員や防災士が必要では  
ないかと思うが、その状況につ  
いて伺う。

答 (市岡教育課長)  
安全・安心な学校づくり  
のポイントは、まず子どもたち  
に自分の命は自分で守る意識を  
育て、自分たちの手で危険・危  
機を回避する力をつけさせるこ  
とです。さらに、大人が子ども  
を守ることであります。

そのために各小中学校におい  
て、命を守る訓練を行っていま  
す。この訓練は、地震・火災を  
想定したもので、例えば避難訓  
練や災害が教室外で発生した場  
合を想定した訓練、災害で行方  
不明の児童生徒がいることを想  
定した訓練など、様々な場面を

です。こうした支え合いの  
仕組みづくりに向け、町や社会  
福祉協議会も一緒になって伴走  
していきたいと考えております。

想定し実施しています。また、  
警報発令時などは、保護者への  
引き渡し下校とする対応も取り、  
児童生徒の安全に努めています。

防犯対策につきましては、児  
童生徒が巻き込まれる事件・事  
故が頻繁に発生しているため、  
未然防止策として警察の協力を  
得て、学校内への侵入者から身  
を守る不審者対応訓練や、不審  
者から身を守る連れ去り防止訓  
練等も各学校で行っています。

そして、スマートフォン等の  
普及に伴い、SNSなどのコミ  
ュニティサイトを利用するとき  
の情報モラル教育の一環として、  
民間講師を招き、保護者と共に  
正しい使用方法や問題点、危険  
性などの話を聞く機会を設けて  
います。

応急手当普及員等の資格取得  
者につきましては、教職員は、応  
急手当普及員が小学校6名、中  
学校4名の計10名、防災士の資  
格取得者はありません。町職員  
は、応急手当普及員が13名、防  
災士は22名です。

防災に関わる教育につきまし  
ては、今後も繰り返し行うこと  
により、どこにいても即対応で  
きるように、一層の力をいれて  
まいりたいと考えております。

岐阜大学特任教授の村岡  
治道氏の、体験型防災教室  
を実施してはどうか。

答 (市岡教育課長)  
岐阜大学の村岡教授につ

きましては、町におきましても  
体験型の防災教室を研究してま  
いりたいと考えております。  
防災、防犯につきましては、  
心構えをすること、繰り返し訓  
練すること、危険なところや危  
険なことに近づかないことが基  
本です。非常時には訓練と同じ  
行動がとれるようにして、さら  
に一層、防災教育に努めてま  
います。



八百津町の豊かな観光  
資源のPRについて

Q1 町には、栗きんとん・八  
百津せんべいを始めとする  
名産品や、杉原千畝記念館・  
八百津祭り・久田見祭り等の観  
光資源があるが、県内外からの  
誘客対策について町の考えを伺  
う。また、大河ドラマ館など近  
隣市町村が行うイベントにタイ  
アップしたり、旅行会社が行う  
ツアーに売り込みをするなど、  
観光客増加に向けたPRをして  
はどうか。

誘客対策について町の考えを伺  
う。また、大河ドラマ館など近  
隣市町村が行うイベントにタイ  
アップしたり、旅行会社が行う  
ツアーに売り込みをするなど、  
観光客増加に向けたPRをして  
はどうか。